

これまでに育児休業を取得した男性職員の中から、3名の方にご協力いただき、インタビューを行いました。皆さん、どのような感想を持たれたでしょう？



◎まず、鎌倉市役所に採用されて9年目、33歳の事務職の方です。

Q：育児休業を取得したのはいつですか？

A：採用後、まる8年くらいになる3月から4月にかけてです。

Q：育児休業を取得しようと思った理由を教えてください。

A：4月から、こどもの保育所の入所は決まっていたのですが、4月中はならし保育で預かり時間が短いので、妻の職場復帰を支援しようと思ったのがきっかけです。

それと、こどもが生まれてから、あまり子育てに関わってこなかったのですが、職場の先輩が、こどもの送り迎え等に積極的に関わっているのを見て、そういうのも大事な、と思ったのがあります。

Q：育児休業を取得されたときの状況と取得期間を教えてください。

A：こどもの月齢は9～10か月の頃。妻は育休中で、職場復帰を控えている時期でした。期間は3週間ちょっとです。

Q：育児休業を取得することについて、職場に対しては、いつ頃、どなたに相談されましたか？

A：育児休業取得開始の1か月半前くらいに、上司である課長補佐に相談し、その後、職場の先輩にも話をしました。

Q：その時の反応はいかがでしたか？

A：繁忙期にかかっていたのですが、いいよ、と言ってもらえました。

Q：では、復帰した際、育児休業を取得したことによる周囲の影響は感じましたか？

A：私が育休中の業務分担で負担をかけてしまったなというのがありますが、元から育児中の職員への配慮がある職場なので、周囲の意識が変わったというのはありません。

Q：育児休業後、あなたの意識や行動に変化はありましたか？

A：妻の職場復帰と併せての影響として、仕事を切り上げる日と、そうでない日のメリハリを付けるようにしました。

Q：最後に、育児休業を取得したことで感じたメリット・デメリットを教えてください。

A：比較的短期間であったので、自身についてデメリットは特に感じていません。メリットは、改めて、こどもと過ごす大変さを実感できたことです。妻への感謝の気持ちを強く持ちました。

夫婦共に職場復帰してからよくある、平日に交替でこどもの看病をする場面も、こどもと1日過ごす経験をしたことで、今は卒なくこなせていると思います。



◎次に、鎌倉市役所に採用されて7年目、34歳の保健師の方です。

Q：育児休業を取得したのはいつですか？

A：市役所に採用されて2年目のときと5年目のときです。

Q：では、育児休業を取得しようと思った理由を教えてください。

A：海外では、男性の育児休業の取得率が高いということを聞いており、興味を持っていました。

取得することでのメリット（家族関係の強化や子の成長へのプラス効果など）が大きく、また、自分の経験を増やしたいという思いがあり、取得しました。

Q：育児休業を取得されたときの状況と取得期間を教えてください。

A：第1子のときは、出生から満1歳まで取得しました。夫婦同時に取得し、同時に復職しました。

第2子のときは、出生から満4か月までと、満1歳から3週間取得しました。妻は満1歳時点で復職しました。

Q：育児休業を取得することについて、職場に対しては、いつ頃、どなたに相談されましたか？

A：妻の妊娠を報告したころ（妊娠7週目ごろ）です。

Q：その時の反応はいかがでしたか？

A：直属の上司から、先に育児休業を取得することを後押しするような声をかけていただきました。

Q：では、復帰した際、育児休業を取得したことによる周囲の影響は感じましたか？

A：担当替えが済んでおり、それまで担当していた業務を別の職員に代わってもらっていました。

Q：育児休業後、あなたの意識や行動に変化はありましたか？

A：育児のため、就業時間内で一日の仕事を区切らなければという意識ができました。

Q：最後に、育児休業を取得したことで感じたメリット・デメリットを教えてください。

A：メリットは、育児そのものが貴重な体験だったこと、子どもの成長を目の前で体験できたこと、家族とゆっくり過ごす時間がとれたこと、保育園探し等を含めてライフプランを話し合うことができたことです。

一方、デメリットとしては、取得前の業務調整が多忙であったこと、予定日までの引継ぎを目標としましたが、予定日前に出生したため、一部十分な引継ぎができなかったことでした。



◎最後は、今まさに育児休業中の、鎌倉市役所に採用されて12年目、43歳の事務職の方です。

Q：まず、育児休業を取得しようと思った理由を教えてください。

A：共働き世帯が増えているにも関わらず育児の負担が母親に偏るいわゆるワンオペ育児が問題になっていること、また子育てにじっくり取り組むという経験が今後仕事をしていく上で非常に有意義な経験になると考えたためです。

Q：育児休業を取得されたときの状況と取得期間を教えてください。

A：生後5カ月頃から取得しています。育休を取得している母親と共に一年間を予定しています。

Q：育児休業を取得することについて、職場に対しては、いつ頃、どなたに相談されましたか？

A：育児休業を取得する4カ月程度前に職場の上司である課長と課長補佐に相談しました。

Q：その時の反応はいかがでしたか。

A：もちろん育休に入る前はその後の業務に支障がでないようきちんと引継ぎをするようにとの指示がありましたが、相談後すぐに職員課や関係部署に話をするなど、バックアップをいただき育児休業の取得について快く了解をいただきました。

Q：最後に、今まさに育児休業中ですが、育休を取得したことで感じているメリット・デメリットを教えてください。

A：生まれてから常に子どもと一緒にいることから、子どもの日々の成長を実感できています。また、夫婦でしっかり話し合いをしながら協力して子育てができることがメリットだと感じています。

今のところデメリットについては特に感じていません。

今回は、3名の職員の声を聞きました。今回いただいた声に耳をしっかりと傾け、今後も、ワークライフバランスの推奨に取り組んでいきます。

